

2015.4 千葉県流山市議選

市民が議員定数削減を争点に設定する試み

■■概略■■

- ・流山市議選で議員定数削減が、選挙の争点にならざるを得ないような状況を作り出そうという試みです。具体的には、市民団体が立候補者すべてに議員定数削減に対する意思表示（賛否）を求め、賛成立候補者には「定数削減賛成」のステッカーを配布、自身の選挙ポスター上に貼り付けるよう要請します。有権者はポスター掲示板をみれば、賛成者が見分けられることとなります。
- ・選挙に当たって候補者は、一般に「いいことづくめ」の公約・マニフェストを掲げるのが常であり、有権者はその中で選択しなければなりません。さらに、いったん当選すれば「市民の代表」として、議案の賛否を含め議員行動は全権委任されます。いわば「やり放題」（注＝p3-2~4）も許されるわけで、これが「間接選挙」の宿命です。これに対し、今回の試みは議員にとって「身を切る」ような課題を提示し、議員、有権者双方に是非を求めるものです。
- ・流山市議会は昨年3月、議員定数削減案（現在の定数28）を否決しました。これは市民による1万人署名、市議会・議員定数特別委員会の2回にわたるアンケート調査でいずれも「削減を望む」結果が出たにもかかわらず、議会の意思は現状維持としました。したがって、有権者が4年に1度に巡って権利を行使できる機会＝市議選に、定数削減を争点として設定し、住民投票に似た状況を作り出そうという実験です。
- ・選挙ポスターに「議員定数削減賛成」のステッカーを張る試みは、流山市選挙管理委員会から適法との確認を得ています。この試みは少なくとも千葉県では初めて、さらに市民が立候補者に政策課題として注文をつけるのは日本の選挙制度史上はじめてと思われます。

■関連資料

1. 立候補者に郵送した往復はがき…………… p 5
2. 政治団体「みんなの流山」…………… p 6～7
3. 議員定数削減案に対する会派別、議員別の賛否…… p 8

(1) 主な内容

- 1) 提案主体・流山市有志市民の会の賛同者の構成（野路以外は 50 音順）
 - ・野路 烝一（流山市有志市民の会代表）
 - ・上村 千寿子（グラフィックデザイナー）
 - ・神戸 道夫（市内商工業者）
 - ・酒井 睦夫（流山市議＝今期限りで引退。1-2 期市議選で定数削減の公約）
 - ・土屋 善雄（政治団体・みんなの流山副代表）
 - ・辺見 益蔵（政治団体・みんなの流山代表）

- 2) 立候補者に対する趣旨説明と意思の確認（往復はがき⇒発送済み）

- 3) ステッカーの配布（自己負担＝ステッカー320 枚ワンセット）

- 3) 添付者と添付位置 立候補者、支援者。添付場所は任意

- 4) 進行状況 8 候補者内諾

(3) 経緯と背景

- 1) 議員（28 名）削減問題は昨年 3 月 26 日市議会で、審議・採決（徹夜となったが、流山市議会事務局公式記録）となった。
 - 議案①4 名削減＝提出・西川誠之市議（会派：市民クラブ）
 - 議案②2 名削減＝提出・森亮二市議（会派：流政会）

- 2) 最終的には 2 名削減案が賛成 10（市民クラブ、流政会）、反対 16（誠和会、公明党、日本共産党、一人会派 2 人）で否決され、決着がついた。

他会派の反対もさることながら、公明党市議（田中人実 齊藤真理 松尾澄子 秋間高義の各市議）は先に審議された 4 人削減案には賛成しながら、2 人削減案では反対に回る、矛盾した投票行動を取った。これは公明党の全国公約と異なるもので、否決されることが見込まれる削減案には賛成、実現しそうな削減案には反対したものとして受け取られた。

- 3) 議会内には 25 年 6 月、各会派を網羅する 10 人の市議だけで構成する議員定数特別委員会（委員長＝酒井睦夫市議）がスタートした。10 か月足らずの昨年 3 月、審議に持ち込まれたが、
 - ①これに先立つ 2010 年秋、1 万人署名の陳情
 - ②同特別委の 2 回のアンケート調査

イ) 無作為抽出 1000 人……「削減すべき」43% 「現状維持」32%
ロ) 公共施設 31 か所で実施

……「削減すべき」61% 「現状維持」15%③

特別委員会は 17 回開かれており、この中では専門家の見解を聞く参考人招致、意見交換会（議会の取り組み説明、会派の見解発表、市民の意見表明）が行われている。

4) この 3 月市議会は議会始まって以来の徹夜議会になった。その模様について、土屋善雄・前みんなの流山代表は「多くの議員が削減反対の立場から、紛糾させることを目的としたとしか思えない、意地の悪い、長々とした“質疑”を行い、（提案理由を説明した）西川議員をサンドバックのようにたたいた」と報告した。

(4) 意義・意味

舞台は流山市議選という一地方の出来事ながら、大きな意味と波及性があると考えます。

- 1) 郵政解散・総選挙は選ばれる側の総理・議員のトップが全国規模で単一の争点を設定しましたが、今回は市民からの“逆争点設定”で、いわば有権者側からの権利行使であり、これは日本の選挙史上初めて試みであるとみられます。
- 2) 「概略」の 2 項目では、当選者は現実の政治行動で、必ずしも公約・マニフェストを守らなくても済み、それどころか「やり放題」も許されると述べてきましたが、流山市議会の議員定数削減を巡る採決では、公明党市議団が、それが現実であることを見せつけました。繰り返しになりますが、

「公明党市議（田中人実 齊藤真理 松尾澄子 秋間高義の各市議）は先に審議された 4 人削減案には賛成しながら、2 人削減案では反対に回る、矛盾した投票行動を取った」のです。

削減数がより厳しい 4 人削減案に賛成しながら、削減数が少なくて済む 2 人案に反対したその根拠をどう説明できるのでしょうか。恥も外聞もない、無節操、政治家として失格——と、どんな罵声を浴びても仕方がないのでしょうか。

- 3) しかも、これは公明党の全国公約に背反しています。4 年前の統一地方選を控えた、2011 年 1 月 12 日、公明党本部は「公明党が目指す地方議会改革への提言~地域主権の確立のために~」を発表しました。

この文書の中で、「住民の信頼を得るためには、議会運営はもちろん、議員定数や議員報酬の問題等、地方議会自らが改革に取り組む強い覚悟と行動が必要です」と明記し、「議員定数については、行政改革観点や住民の判断を踏まえて削減に努力します」(3 ページ)と明確に公約しています。

- 4) 争点設定の試みはこのような流山市議会の意思決定に抗議するものであり、有権者がその投票行動で“政治”を動かす実績を示せば、私たち流山市民を自ら奮い立たせることができ、こうした“武器”を繰り返し採用することや、工夫を重ねることで次第に政治参加を深めていく突破口になると考えます。

それは取りも直さず投票率が上がる現象になって表れ、全国の住民自治、政治参加に刺激する効果が期待できます。



- 5) 日経新聞社が発行している日経グローバル(地域創造のための専門情報誌)は、2012年5月21日号に、情報公開や住民参加などへの取り組みを特集した第2回議会改革度調査を掲載しました。この中で議会改革度の評価がトップにランクされ、「流山市議会は進取の気性に富む議会だ」とまで持ち上げられました。

それによりますと、地方議会の改革の動きは全国的に広がっている中で、流山市の総合得点(100点満点)は66.8、総合偏差値は96.26と、全国810市区議会の中で一番高い評価を受けました。

市民の代表機関である議会の情報公開は評価の“生命線”ですが、この分野で1位(偏差値85.79)。本会議、全委員会をインターネット中継・録画、議案に対する議員個人の賛否をネットと議会報で公表していることが評価されました。

しかし、情報公開は市民参加の基盤が整っただけで、市議会、市議が身近に存在になったわけではなく、「市会議員は何をやっている? 姿が見えない」といった疑問が絶えません。争点選挙設定は住民の政治参加や、政治が変えられるという試金石になるものとみられます。



関連資料1 = 立候補に送付した往復はがき

<p>郵便往復はがき</p> <p>〒270-0176 流山市 加4-16-7</p> <p>流山市有志市民の会事務局 TKプランニング 行き</p>	<p>議員定数削減問題に関するご提案</p> <p>統一地方選挙立候補予定者の皆様</p> <p>流山市有志市民の会 代表 野路烝一 (賛同者) 上村千寿子・神戸道夫 酒井睦夫・土屋善雄・辺見益藏</p> <p>流山市有志市民の会では、来る流山市議会議員選挙におきまして、懸案の議員定数削減問題に関し候補者の皆様に賛否を表明して頂く方法を考えております。市内310カ所の掲示板に選挙ポスターを貼る際、削減賛成の方には用意したステッカーをポスターに貼付し、賛成の意思表示をして頂きたいのです。この取組をマスコミ等を通して告知し、有権者が支持を決める際の参考にして頂こうと考えております。ステッカーの貼付に関しては、選挙管理委員会に問い合わせ、違法ではないと確認済みです。また、ステッカーは恐れ入りますが、320枚分1セットで、1万円での購入をお願いします。320枚以上必要な方は、下記までお問い合わせください。返信の締切は、4月6日必着、下記メールにても受付致します。また、振込み先は下記にお願い致します。ご検討をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>振込先 三菱東京UFJ銀行 新宿新都心支店 (普通) 口座番号：1195480 名義 テイケープランニング トミオカ ツネオ</p> <p>問い合わせ先 090-7191-5986 (富岡) Mail tomioc_t@w2.dion.ne.jp</p> <p>【代表】 野路烝一 流山市向小金 1-450-48</p>
<p>郵便往復はがき</p> <p> 住所</p> <p>〒270-0143</p> <p>流山市向小金 1-450-48 (代表) 野路烝一</p>	<p>ステッカー購入申込書</p> <p>議員定数削減に関し、賛成の意志表明としてステッカーの購入を希望します。</p> <p>(氏名) (住所) (連絡先) TEL Mail (必要枚数) 枚</p> <p>ステッカー見本</p> <p></p> <p>37mm 44mm</p> <p>※1 このステッカーは屋外用防水ラベル式になっております。 ※2 ステッカーは4月14日前後にお手元に届く様に手配致します。</p>

関連資料 2 = 政治団体「みんなの流山」(ホームページを部分コピー)

ホーム>目的・理念

活動目的は?)

	みんなの流山は、市民のために行政や議会を監視牽制し問題提起や政策提言を行うことにより、党派を超えて市民の声が生かせる市政を実現し発展させることを目的とします。
	地方行政に全面的に任せておくのではなく、地方自治の主権者である市民自治の実現を目指して行きます。その為には、私たち市民が地域のエゴや利益誘導であってはならず、公共政策の選択に本当に市民が望む結果を導いて行かねばなりません。

主な活動]

<p>(1) 広く流山市民の声をつかみ、それが反映できる市政を要求して行きます。</p> <p>(2) 会の目的に沿った講演会、各種集会を必要に応じて開催します。</p> <p>(3) 市行政や議会の動きなどの情報を広く皆様にお知らせするため、ニュースの発行、街頭での訴えなどの宣伝活動を行います。</p> <p>(4) 統一地方選挙では、会の目的に沿った候補者を擁立または推薦して行きます。</p> <p>(5) その他、会の目的を達成するための活動をします。</p>

名称	みんなの流山(政治団体)	設立	平成 10 年 (1998 年)10 月
代表	辺見 益蔵	会員数	会員 188 名 ボランティア 80 名
所在地	〒270-0117 千葉県流山市北 134-64 TEL 04-7154-0247		
連絡先	—		
活動地域	流山市		

団体の目的	市民のために行政や議会を監視牽制し問題提起や政策提言を行うことにより、党派を超えて市民の声が生かせる市政を実現し発展させる。
主な活動内容	①情報の受発信を通じ広く流山市民の声を把握し、市政に反映すべく要求をしていく。 ②講演会、各種集会の開催と市政や議会動向を市民に伝えるバブリッシテイ活動 ③統一地方選挙での候補者の擁立または推薦 など。
こんな方におススメ	・流山に興味と愛着を持ち、より住みやすい地域社会構築を望まれている方。 ・企画力・提案力に富み、自ら各種活動に積極的に取り組まれる方は大歓迎
会費	年会費 1口 1,000円(但し1口以上) 尚、一度納められた会費は、お返しいたしません
URL	http://www.minna-na.org/
E-mail	info@minna-na.org
備考	会則

流山市議会・定数削減案の会派別賛否(○=賛成 ×=反対)

◎は会派代表者

(※会派は2人以上をいう)

会派名	定数削減案		氏名	
	4名削減	2名削減		
誠和会	×	×	◎ 伊藤 實	中村 彰男
			三 松田 浩三	中川 弘
			二 海老原 功二	根本 守
流政会	×	○	◎ 坂巻 忠志	笠原 久恵
			二 森 亮二	宮田 一成
			直 青野 直	
市民クラブ	○	○	◎ 酒井 睦夫	菅野 浩考
			子 楠山 栄子	西川 誠之
			行 藤井 俊行	
公明党	○	×	◎ 田中 人実	斉藤 真理
			子 松尾 澄子	秋間 高義
日本共産党	×	×	◎ 乾 紳一郎	植田 和子
			代子 徳増 記代子	小田桐 仙
会派に所属しない議員(※)	×	×	加藤 啓子	
			松野 豊	